

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第4区分

【発行日】平成29年3月9日(2017.3.9)

【公表番号】特表2016-514335(P2016-514335A)

【公表日】平成28年5月19日(2016.5.19)

【年通号数】公開・登録公報2016-030

【出願番号】特願2015-556341(P2015-556341)

【国際特許分類】

G 11 B 27/02 (2006.01)

G 11 B 20/10 (2006.01)

G 11 B 27/10 (2006.01)

H 04 R 3/00 (2006.01)

H 04 N 5/91 (2006.01)

【F I】

G 11 B 27/02 J

G 11 B 20/10 G

G 11 B 20/10 3 2 1 Z

G 11 B 27/10 A

H 04 R 3/00

H 04 N 5/91 N

【手続補正書】

【提出日】平成29年2月2日(2017.2.2)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

コンピュータに記憶されたメディア編集プログラムを実行すると、メディアデータを処理するための方法であって、前記方法が、

(i) 第1フォーマットのサンプルのバッファを、メディア編集スイートを含むメディア編集プラットフォーム内に置かれているオーディオトラックから受信することと、

(ii) 前記受信された第1フォーマットのサンプルに応答して、対応する第2フォーマットのサンプルのセットをマルチチャネルオーディオファイルから得ることと、

(iii) ミキシングパラメータのセットに基づき、前記得られた第2フォーマットのサンプルをミックスし、それにより、前記第2フォーマットのサンプルの前記ミキシングから生じた第1フォーマットのサンプルの新しいバッファを定義することと、

(iv) 第1フォーマットのサンプルの前記新しいバッファを出力することとを含む、メディアデータを処理するための方法。

【請求項2】

前記第1フォーマットのサンプルが参照オーディオファイルから生じている、請求項1に記載の方法。

【請求項3】

前記参照オーディオファイルが、関連付けられたマルチチャネルファイルを参照するようにコード化されている、請求項2に記載の方法。

【請求項4】

(i) が、対応する第2フォーマットのサンプルの前記セットを前記関連付けられた

マルチチャネルファイルから得ることを含む、請求項 3 に記載の方法。

【請求項 5】

( i i ) が、

ユーザーが、前記関連付けられたマルチチャネルファイル以外のマルチチャネルファイルを指定しているかどうかを判断することを含み、

前記ユーザーが、前記関連付けられたマルチチャネルファイル以外のマルチチャネルファイルを指定していない場合、対応する第 2 フォーマットのサンプルの前記セットを前記関連付けられたマルチチャネルファイルから得て、

前記ユーザーが、前記関連付けられたマルチチャネルファイル以外のマルチチャネルファイルを指定している場合、対応する第 2 フォーマットのサンプルの前記セットを前記指定されたマルチチャネルファイルから得る、

請求項 3 に記載の方法。

【請求項 6】

第 1 フォーマットのサンプルの前記バッファが、既知の起点に対して定義されたシーク位置を示す位置データを含み、かつ、( i i ) が、対応する第 2 フォーマットのサンプルの前記セットを前記マルチチャネルオーディオファイル内の対応するシーク位置から得ることを含む、請求項 2 に記載の方法。

【請求項 7】

( i i i ) が、

ユーザー定義のミキシングパラメータのセットを識別することと、

ユーザー定義のオートメーションパラメータのセットを識別することと、

対応する第 2 フォーマットのサンプルの前記セット内の各サンプルに対して、ユーザー定義のミキシングパラメータの前記セットおよびユーザー定義のオートメーションパラメータの前記セットに基づき、1つ以上のチャネルに変換を適用することとを含む、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 8】

前記マルチチャネルファイルが、それぞれ音楽態様に対応する複数のチャネルを含む、請求項 7 に記載の方法。

【請求項 9】

前記マルチチャネルファイルが、それぞれパーカッションサウンドに対応する複数のチャネルを含む、請求項 8 に記載の方法。

【請求項 10】

( a ) 複数の空間を含む、グラフィカルレイアウトを定義することであって、各空間が

、  
( i ) 前記マルチチャネルファイルの単一のチャネル、または  
( i i ) 前記マルチチャネルファイルのチャネルの組合せのいずれかに対応する、グラフィカルレイアウトを定義することと

( b ) ユーザー入力に基づき、1つ以上のオートメーショントラックを定義することであって、各オートメーショントラックが、ミキシング制御を容易にするために時間特定値を定義する、1つ以上のオートメーショントラックを定義することと、

( c ) 前記時間特定値に基づき、前記ミキシングパラメータを判断することとを含む、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 11】

前記グラフィカルレイアウトが、x 軸および y 軸を含み、かつ( b ) が、ユーザー入力に基づき、各軸に対してそれぞれのオートメーショントラックを定義し、各オートメーショントラックがメディアタイムラインに対してその軸に対する時間特定値を定義する、請求項 10 に記載の方法。

【請求項 12】

前記第 1 フォーマットのサンプルのセットと関連付けられたユーザー定義のテンポパラメータ t を判断することであって、前記セットが、s 個のサンプルによって定義されてい

る、ユーザー定義のテンポパラメータ  $t$  を判断することと、

前記テンポパラメータ  $t$  に基づき、前記マルチチャネルファイルから取得されるサンプル数  $s'$  を判断して、前記  $s'$  個のサンプルを前記マルチチャネルファイルから得ることと、

前記得られた第2フォーマットのサンプルをミキシングパラメータの前記セットに基づいてミックスし、それにより、前記第2フォーマットのサンプルの前記ミキシングから生じた  $s'$  個の第1フォーマットのサンプルの新しいバッファを定義することと、

テンポ変換プロセスを前記  $s'$  個の第1フォーマットのサンプルに適用し、それにより  $s$  個の第1フォーマットのサンプルを定義することと、

$s$  個の第1フォーマットのサンプルの前記新しいバッファを出力することとを含む、請求項1に記載の方法。

【請求項13】

前記方法が、メディア編集プログラムと関連付けられたプラグインによって実行される、請求項1～12のいずれか1つに記載の方法。

【請求項14】

請求項1～13のいずれか1つに記載の方法を実行するように構成されたコンピュータシステム。

【請求項15】

プロセッサ上で実行される場合に、前記プロセッサに、請求項1～13のいずれか1つに記載の方法を実行させる、コンピュータ実行可能コードを保持する非推移的キャリア媒体。